

山崎 勲 君

佐藤 弘志 君 齊藤園主卓話御苦勞様です。カラオケの名調子でよろしくお願い致します。追伸、齊藤様のカラオケは天下一品です。

久保 博 君

早川 龍雄 君 春が来た。今年も忘れず鼻に来た。花粉症でこまっています。特効薬ありますか？

堀川 正幸 君 先週のウェスタンステーキは大変結構でした。年を忘れてつい乗ってしまいました。家内も非常に喜んでくれました。有難うございました!!

芦田 義重 君 小田さんスマイルBOXごくろうさまです。

大野 新吉 君 本日は私のかわりに、卓話をお願いした齊藤さん有難うございます。春本番の大変お忙がしい中申し訳ございません。本日は宜しく願います。

五十嵐 茂 君 三月一日に三条クラブで卓話を話してまいりました。何人かの方に小林前県警本部長ににていると言われました。載いた御礼をあげたら図書券でした。「私はマージャンも出きません。東大も出ていません」皆さんに変な激励をされました。でもうれしかった。

#### ロータリー財団：

淵 岡 茂 君 二月の夜例会終了後会長以下数名の方々と二次会にてバツタリ。最後の割勘の時、余剰金から出ました。それを財団へ。

今井 克義 君

五十嵐 茂 君 すわった時、目線がいっしょなのに立ったら見上げてしまう淵岡さん、足の長さにまいった。

長谷川 博一 君

山上 茂夫 君 フィリピンのセブ、グアダルーベクラブの方々からお手紙をもらいました。プロジェクトの御支援をとの事です。

卓 話： 「日本庭園と保内の植木」 齋藤六左園々主 齋藤興一様



#### ①庭園の始まり

5世紀の中頃、大和朝廷では二つの勢力がありました。一つは渡来人文化を国府とする大臣の蘇我氏と日本文化を国府とする大連の物部氏との間で戦争が始まり（現在の東大阪）蘇我氏が勝利し、崇峻天皇を立て即位後5年目に、天皇と蘇我氏の間で対立が起こり、天皇が「いつかあのイノシシの首のように嫌や奴の首を切ってやる。」この事が蘇我氏の耳に入り天皇を暗殺し、33代推古天皇の即位となり、蘇我氏勢力の安泰がつづきました。蘇我氏は渡来人の伝えた仏教を国

府に取入れ、自分の罪を懺悔し安泰を祈ったという。

当時の日本は瑞穂の国で貴族の家庭でも蔬菜、鶏、穀物、池に魚を飼っていたそうです。蘇我氏は屋外にも仏が欲しいと、三つの石を立て『三尊石』とし、松と桜と百口紅を植えたのが日本庭園の始まりとなります。そして、百口紅は貴族と一般人との格差を付けたそうです。（昭和20年まで）

三尊石組と須弥山組（天より神の宿る石組は今でいう忠魂碑）の宗教的庭園が平安後期まで続きました。

## ②庭園の変化

唐の国から神殿造りの建築文化が日本に入ってくるのと庭園も変化することとなります。藤原道長によって造られた宇治の平等園や平泉の毛越寺が有名です。平等園を造るときの記録書を『作庭記』といい日本最古の庭の本です。

鎌倉時代から室町時代に入ると、作庭記を元に神社仏閣の庭園が造られるようになりました。中でも夢窓国師によって造られた西芳寺、天竜寺や粗阿弥が造った銀閣寺などが有名です。

室町時代の後期に入ると千の利休が古くからのお茶の飲み方を合理的にまとめ、わびを取入れた道を教えました。弟子には古田織部、石川丈山がおり、丈山は大阪の陣での軍議に犯し、抜け駆けをして家康の勘気にふれ京都東山にて詩仙堂を造り漢詩、庭、書道、茶などを残しました、織部は茶庭、焼物、灯籠、茶では武家流を残しました。遠州の茶道は織部を師とし遠州流茶道、庭園、茶室、茶庭を残し築造中でも金地院が有名の庭です。

江戸時代に入ると大名庭園が造られ、庭も武士の生活に取入れられてきました。

## ③庶民の庭園

国が安定してくると庶民にも力が付き、豪商、豪農が出現してきます。その頃、『築山庭造伝』が書かれ、その本を見ると真の庭、行の庭、早の庭と造られました。豪農は真の庭を造っています。本県の高柳町の『定観園』はそれです。

一般庶民の中にも地主や陣屋に願い出をし、一坪ないし二坪の土地に土を盛り、そこで植木や花を植えて楽しむ事を許され、園芸を楽しむ事ができました。これを『坪床』と言い、植える木を『坪木』といいました。

## ④保内の植木

文化文政の時、凶作に次ぐ凶作の為、保内では娘達を奉公（人買いに売る事）に出さなければ暮らしてゆくことができなかったが、隣の下条村では庄屋太郎左エ門が山林の杉や松を伐採し、それらを売り村を救っていました。

下条村では、山林を伐採したあと必ず苗木を植える事を知り、保内では山林種苗の苗木を生産しました。齊藤六左衛門現当主より七代前の玄左エ門の指導により杉苗、松苗、加茂の桐タンスの桐苗、七谷の和紙の原料のコウズ苗と桑苗を天保の頃より始めました。